

2025 年度（公社）日本雪氷学会北信越支部 総会および研究発表会・製品発表検討会

日 時：2025 年 5 月 31 日（土）11:10～17:10

場 所：長野市生涯学習センター（長野市鶴賀問御所町 1271-3 TOiGO WEST 3F）

次 第：

研究発表会 11:10～12:15

総 会 13:30～14:20

支部賞授賞式 14:20～14:45

雪氷技術賞：町田敬 氏

件 名：デジタル技術を活用した道路雪崩の管理技術の近代化

雪氷奨励賞：砂子宗次郎 氏

件 名：フィールド観測に基づいた多様な雪氷環境変動および雪氷防災に関する研究

雪氷功労賞：飯田肇 氏

件 名：長年にわたる立山山岳積雪観測と北アルプス現存氷河研究および支部活動への貢献

雪氷功労賞：上石勲 氏

件 名：長年の雪氷防災対策と支部活動への貢献

研究発表会 14:50～17:10

研究発表会・製品発表検討会プログラム（発表 10 分・質疑 2 分）

A 会場 I 雪崩（11:10-12:15）

座長：町田敬（町田建設）

- 2025 年 1～2 月 新潟県，福島県県境付近で発生した雪崩被害事例速報
○上石勲・山口悟（防災科研）
- 2025 年 3 月に白馬村源次郎沢で発生した大規模な湿雪表層雪崩（速報）
○勝山祐太・勝島隆史・竹内由香里（森林総研）・石川颯一郎（八方尾根スキーパトロール）
- 今冬（2024/2025 冬期）の柵口地区降積雪状況と雪崩発生
○渡辺伸一・榊直人（土研）
- 水文観測結果の雪崩災害警戒指標としての活用について
○藤平大（土研）
- 斜面上の積雪状況を考慮した推定雪崩発生区の GIS 上における抽出へ向けた試み
ー糸魚川市柵口地区権現岳を例としてー
○榊直人・渡辺伸一・藤平大（土研）

A 会場Ⅱ 雪崩，降雪（14:50-15:55）

座長：勝山祐太（森林総研）

6. 天狗山・国見岳で発生した巨大雪崩
○飯田肇・福井幸太郎（立山カルデラ博）
7. 霰による弱層をもたらす降雪の特徴とその検出手法ー2024年3月の立山での霰弱層に起因する広範囲の雪崩に関連してー
○石坂雅昭（防災科研客員）・杉浦幸之助（富山大）・飯田肇（立山カルデラ博）
8. 2024/2025年初冬の降水に対する日本海の海面水温の影響とその地域差
○田村健太（防災科研）
9. 長岡における強い降雪時の降雪粒子の特徴について
○本吉弘岐（防災科研）・石坂雅昭（防災科研客員）・山下克也・中井専人（防災科研）
10. 2025年2月7日の大雪時に新潟市で観察された雪結晶
○藤野丈志（興和）

A 会場Ⅲ 雪渓，気候，積雪分布（16:05-17:10）

座長：浜田崇（長野県）

11. 過去最少となった白山・千蛇ヶ池雪渓
○小川弘司・藤原洋一（石川県立大）
12. 槍ヶ岳を源流とする梓川と高瀬川の上流域における降積雪量の変動
○鈴木啓助（信州大・大町山岳博）
13. 信越地方における年最深積雪の長期変化
○栗林正俊（長野県）
14. UAV-LiDARによる2025年4月の立山黒部アルペンルートの標高毎の積雪深分布観測
○福井幸太郎・飯田肇（立山カルデラ博）・川瀬宏明（気象庁）
15. AMeDASデータを用いた初期積雪形成時の気象条件と標高特性
○杉浦幸之助・本井雅也（富山大）

B 会場Ⅰ 交通，計測（11:10-12:15）

座長：太田あみ（長野地台）

16. 非積雪地域における雪による車両滞留発生時の気象条件
中島正太郎・○河島克久（新潟大）
17. 消融雪施設の冗長化設計に向けた降雪量の統計
藤野丈志（興和）・渡辺柚香（長岡技大）・○碓井大成（興和）
18. 路面雪氷状態解析における車両通過と凍結防止剤散布の重要性について
○藤本明宏（福井大）

19. 新潟市における AI スマホ路面判定システムを活用した冬期道路管理に関する研究
ー2024/25 年冬期観測速報ー

○上石勲・中村一樹（防災科研）・関根正道・布川亮・神保元（新潟市）・岸田佐世子（シルソナ）

20. LiDAR を用いた道路上の雪氷の計測

○福原匠流・杉原幸信・上村靖司（長岡技大）・藤野丈志（興和）

B 会場Ⅱ 利雪・克雪，吹雪，融雪，積雪の構造（14:50-15:55）

座長：砂子宗次朗（防災科研）

21. 雪散布による夏季舗装養生時間短縮

○山田佳汰・齋藤進・杉原幸信・上村靖司（長岡技大）・岩崎伸一・荒川涼（ネクスコ・エンジニアリング新潟）・中川直人・大久保忠彦（ネクスコ・メンテナンス新潟）

22. 機械学習を用いた新潟県長岡市の人身雪害発生予測 ー人身雪害発生件数に基づく重み付けを施したモデルの作成と評価ー

石川大貴・○杉原幸信・上村靖司（長岡技大）

23. プローブ型積雪硬度計を用いた吹きだまり内部構造の解明 ー断面観測との比較ー

○新屋啓文（新潟大）・大宮哲（寒地土研）・松宮央登・丹治星河（京大）・大風翼（東京科学大）

24. 温暖多雪地における積雪期間を通じた積雪底面流出の推移

○竹内由香里・勝島隆史・勝山祐太（森林総研）

25. 数値モデルによる積雪中の水分凍結に伴う氷板形成過程の再現の試み

○平島寛行（防災科研）・八久保晶弘・白川龍生（北見工大）・大澤光（森林総研）

B 会場Ⅲ 雪氷化学・雪氷物理・着氷雪（16:05-17:10）

座長：藤野丈志（興和）

26. 富士山頂における微生物粒子個数濃度の連続測定

○渡辺幸一（富山県立大）・村田浩太郎（埼玉県）・加藤俊吾（東京都立大）

27. 融雪期の山岳域における表層雪中の化学成分の特徴および冷蔵保存中の濃度変化

○森智晴・大納涼雅・山崎雄太・渡辺幸一（富山県立大）・岩本怜佳・酒徳昭宏・田中大祐（富山大）

28. 滴下法による氷柱花作成 ー気泡発生位置の予測と花氷の形状変化が気泡発生に与える影響ー

丸山翔生・○東條将也・上村靖司・杉原幸信（長岡技大）

29. 不凍液濃縮のための冷却ロール型連続製氷技術の開発

村田隆太郎・○原祥栄・上村靖司・杉原幸信（長岡技大）

30. 野外計測によるスギ樹冠の抗力係数に及ぼす着雪の影響評価

○勝島隆史・勝山祐太・竹内由香里（森林総研）